

努力事項解説 その1 (小学校音楽)

題材の目標を焦点化し、内容を厳選し、教材のねらいを明確にしましょう
を

A小学校4年生の題材「ひょうしとせんりつ」で考える

「教材のねらい」は明確になっているか？

教材のねらいを明確にすることについて、A小学校4年生の「ひょうしとせんりつ」の題材を通して考えてみます。

「題材の内容を厳選する」については、このように書きました。

何を指導するのか取り扱う楽曲のレベルではっきりさせる

です。今回、題材「ひょうしとせんりつ」で取り扱う楽曲は、

- エーデルワイス (ロジャーズ作曲)
- トルコ行進曲 (ベートーベン作曲)
- メリーさんの羊 (作曲者不明)
- ラバースコンチェルト
(サンディ・リンザー&デニー・ランドル作曲)

ですが、A小学校の「ひょうしとせんりつ」の題材の指導計画には、この内容の項目がありませんので、曲ごとに、この曲で何をどうやって指導するのか明確にし、望ましい活動例を掲載します。参考にしてください。

エーデルワイス

- 3拍子の特徴やリズムを感じ取るために
 - ・3拍子に合わせて体を左右に揺らしながら歌い、3拍子の優雅さという特徴を感じ取る。
 - ・1拍目を少し強く、他の拍を弱めに余裕を持って歌い、3拍子の優雅な雰囲気を感じ取る。
- フレーズの働きを感じ取らせるために
 - ・歌いながら、3段目だけが全く違う感じということに気付かせ、フレーズのまとまりと役割に気付かせる。
 - ※3拍子という名詞を知識として教えることにこだわらないようにすることが大切です。歌ったり、演奏したり、聴いたりする活動を通して、3拍子を体感させましょう。「3拍子っていいなあー、とか、3拍子っておもしろいなー。」と児童が感じるようにしていきましょう。

トルコ行進曲

- 2拍子の特徴やリズムを感じ取るために
 - ・「トルコ行進曲」と「エーデルワイス」を体を揺らしながら聴き、体の自然な反応から2拍子と3拍子の違いを感じ取る。
 - ・拍のはっきりしない曲（例えば、ドビュッシーの月の光など）と比較して聴かせて、拍の明確さに気付かせる。
 - ※音楽を聴かせるときは、じっくりとよさを味わわせる聴かせ方も大切ですが、ポイントを絞って聴かせることも大変重要です。指導内容（今回は拍）について、対照的な雰囲気を持っている曲を聴かせることで児童はポイントに気付くことができます。

メリーさんの羊

- 2拍子の特徴やリズムを感じ取るために
 - ・「メリーさんの羊」と「エーデルワイス」を、みんなで手をつないで丸くなってステップを踏みながら踊ることで、2拍子と3拍子の違いを体で感じ取る。
- 音を合わせて演奏することについて。
 - ・鍵盤ハーモニカで2拍子の雰囲気ができるようにスタッカート気味で正しい運指で演奏する。
 - ※親指をくぐらせる必要がないので、鍵盤ハーモニカで楽しみながら演奏するのに適しています。楽しみながら、正しい運指で演奏できるようにしていきましょう。

ラバースコンチェルト

- 4拍子の特徴やリズムを感じ取るために
 - ・「ラバースコンチェルト」と「エーデルワイス」を体を揺らしながら聴き、体の自然な反応から4拍子と3拍子の違いを感じ取る。
 - ・手拍子をしながら歌い、自然に、1拍目強、2拍目弱、3拍目中強、4拍目弱とすると4拍子に合うことに気づき、4拍子の特徴を感じ取る。
- フレーズの働きを感じ取らせるために
 - ・歌いながら、1段目と3段目が全く同じで、2段目と4段目は最後だけが違うことに気付かせ、フレーズのまとまりと役割に気付かせる。
 - ※知識ではなく、感覚で感じ取らせることを第一に考えていきましょう。

次回は、小学校の重点「児童が音楽を形づくっている要素（音楽を特徴付けている要素及び音楽の仕組み）を聴き取り、音楽のよさや美しさと結び付けて感じ取ることができるような授業の展開を構想する。」について考えてみます。

7月5日（金）頃、アップ予定です。

